

地域内の観光連携体制構築業務委託仕様書

1 業務の名称

地域内の観光連携体制構築業務

2 目的

第4期只見川電源流域振興計画における各種目標の達成に向けて、奥会津地域における交流人口の増加を図るため、特に観光分野における広域的な地域づくりを進めていく必要がある。

この事業においては、上記を達成するため、昨年度まで開催した「広域連携地域づくり検討会議」における検討結果を踏まえ、地域内各町村における課題やそれぞれの取り組み・施策等を整理し、奥会津地域全体における広域連携事業につなげるため、令和6年度以降の具体的な連携事業や持続可能な事業実施体制の方向性を定めることを目的とする。

3 業務内容

(1) 広域連携地域づくり検討会議の運営に関する業務

- ア 会議に向けての議題整理（会議前の事務局との打ち合わせ含む）
※会議の開催回数、実施時期については委託者と協議の上決定する。
- イ 各会議における各種資料の提供（他地域の事例等の情報提供含む）
- ウ 会議当日の出席及び事務局説明の補助
- エ 各会議の議事録の作成
- オ 各会議の意見等を踏まえて、具体的連携事業や事業実施体制の検討を行う。

(2) 奥会津地域内の観光の現状、課題の把握及び分析の実施

奥会津地域内の観光資源の調査、現状分析や課題抽出を行う。（以下は例示的に掲載しているものであり、現状課題の把握及び分析ができるものであればこれに限るものではない。）

- ア 既存観光資源の調査（観光地、観光施設、体験コンテンツ、グルメ等）
- イ 現地視察調査（主要観光施設等）
- ウ ヒアリング調査（観光関連団体や自治体で実施する観光振興に関する取り組みについての現状整理）

(3) 国内外の観光動向、消費動向の把握

現在の旅行者のニーズ等を調査し、データの収集及び調査分析を行う。（以下は例示的に掲載しているものであり、各動向の把握ができるものであればこれに限るものではない。）

- ア 各種統計資料等により国内外の観光市場の動向把握

(4) 現状及び調査結果の分析、課題の整理ならびに事業実施における目標設定

前述（1）から（3）までの結果を踏まえ、奥会津地域の広域観光振興を行う上で目指すべき方向性と実施するうえでの課題を整理し、事業実施における目標設定を行うこと。

(5) 目標達成に向けた取り組みの構築

第4期只見川電源流域振興計画における目標達成のために必要な事業を抽出し、これを実施していくための手法、体制等をまとめること。

4 業務実施期間

契約日から令和6年2月28日まで

5 成果品

以下のとおり提出すること。

- (1) 業務実施報告書 2部

6 その他

- (1) 契約額には、上記3に関する経費（消耗品費、資材及び機器の使用料、各報告書の作成に係る費用等）を含む。
- (2) 契約に係る費用については受注者が負担するものとする。
- (3) 本業務により知り得た情報を許可なく外部に漏らし又は他の目的に使用しないこと。
- (4) 業務実施報告書ほか本業務の納品物についての著作権は委託者に帰属する。ただし研修会資料や発表資料などの受託者が事業着手前から有する著作物は除く。
- (5) この仕様書に定めのない事項については委託者と受注者が協議の上決定する。ただし、明示の無い事項にあっても社会通念上当然必要と思われるものについては本業務に含まれるものとする。